

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成29年度事業)

<目次>

1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 点検評価の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 飯能市教育行政の重点施策について・・・・・・・・	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価・・・・・・・・	26
5 教育委員会の活動状況と評価・・・・・・・・	27
6 評価会での学識経験者の意見等・・・・・・・・	30
7 おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・	31

平成30年8月24日

飯能市教育委員会

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成29年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

（1）目 的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

（2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第26条第2項）、これを受けて教育委員会では、平成30年7月25日に「飯能市教育行政の重点施策の評価会」を開催し、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

<飯能市教育行政の重点施策の評価会>

開 催 日：平成30年7月25日（水）

開催場所：飯能市役所 本庁舎別館 会議室1

出席学識経験者：駿河台大学

経済経営学部教授 高垣 行男 氏

経済経営学部教授 増田 珠子 氏

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成29年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

<平成29年度飯能市教育行政の重点施策>

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

基本方針

- I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。
- II 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。
- III 学校・家庭・地域と連携した教育に取り組みます。
- IV 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます。
- V スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

次ページ以降に記載の各重点施策の該当項目に、各所管が掲げている平成29年度の事業名と結果、達成率、評価等を表記しています。

評価の基準は下記のとおりです。

◇評価の基準

評価点	達成割合	説 明
S	100%を超える	達成度、成果ともに期待を上回る
A	100%	目標を達成し、達成度、成果ともに期待どおり
B	90～100%未満	100%ではないが、概ね目標を達成し標準的レベル
C	75～90%未満	達成度、成果が目標をやや下回る
D	75%未満	達成度、成果ともに期待を（顕著に）下回る

I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。

1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 確かな学力の育成

①「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進

◇ ※K4の視点による研修システムを活用し授業改善を進めます。

関連する事業	事業名 学力向上プロジェクト [学校教育課]
目標	学力の向上を目指して、一年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。
結果及び成果	○学校指導訪問を11校（小学校7校、中学校4校）で実施。わかる喜び、できた喜びを味わわせる授業づくりに向けて、訪問校でK4（課題・活動・確認・価値づけ）の視点を意識した授業方法の工夫・改善を指導した。 ○各種学力調査の結果では、小中学校ともに県や全国の平均を下回る結果となっている。伸び率こそ成果の見られた学校があったが、分析と対策を講じる必要がある。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	○各校による学力学習状況調査の結果分析とその活用を一層図る必要がある。調査問題を全教職員が取り組み、その傾向や内容を授業づくりの一助となるよう授業研究を行う必要がある。 ○K4による視点で授業づくりを行っているが、形骸化が見られる。新学習指導要領の趣旨を確認し、授業づくりに向けて工夫改善を図ることが課題である。

※K4とは、授業改善の視点として「課題・活動・確認・価値づけ（K4）」4つの「K」を明示したものである。

②学習状況を把握し児童生徒一人一人を伸ばす教育の推進

◇ 「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

③学習習慣形成の推進

④小・中学校9年間を一貫した教育の推進

(2) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対する教育の推進

- ①伝統と文化を尊重する教育の推進
- ②グローバル化の進展に対する力を育む教育の推進
- ③外国語教育の推進

◇ 外国語活動支援員を活用した小学校外国語活動を進めます。

関連する事業	事業名 外国語活動支援員配置 [学校教育課]
目 標	小学校外国語活動・英語の授業の充実を目指し、外国語活動支援員を配置する。
結果及び成果	○学級担任AETの間に入って授業を進める外国語活動支援員の役割について、三者が理解し効果的に進められるようになった。 ○担当指導主事による授業見学・指導は各校3回以上実施することができ、支援の在り方について定着が見られた。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○外国語活動支援員の活動内容について、更なる支援の向上のため、他の支援員と情報交換等を行う研修会が必要である。 ○支援員の増員を図り、英語活動の一層の充実を図る必要がある。

(3) 社会の変化に対応する教育の推進

- ①教育の情報化の推進

◇ タブレットPCの整備・活用など、ICTを活用した授業づくりを進めるとともに、児童生徒の情報活用能力、情報モラルの育成を進めます。

- ②環境教育の推進
- ③キャリア教育の推進
- ④特別支援教育の推進

(4) 生きる力の基礎を育む幼稚園教育の充実

- ①少人数の良さを生かした教育の推進

◇ 異年齢の交流を通して人と関わる力の育成を進めます。

- ②恵まれた自然を生かした教育の推進

◇ 園を取り巻く自然を生かした活動を進めます。

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

- ①道徳教育の推進

◇ 「道徳」の教科化に向けた、指導方法の工夫・改善の取り組みを進めます。

- ②読書活動の推進
- ③人権教育の推進

④教育相談活動の充実

⑤いじめ・不登校対策の推進

- ◇ 「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取り組みを進めます。

⑥生徒指導の充実

- ◇ 「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取り組みを進めます。【再掲】

関連する事業	事業名 いじめ防止基本方針に基づいたいじめ根絶の取組の推進 [学校教育課]
目 標	いじめのない学校の実現を目指して、いじめ防止基本方針に基づいた取組を進める。
結果及び成果	いじめの認知件数（３０年３月末現在） 小学校２４件・中学校１１件 解消率： 小学校７９％（１９件） 中学校７３％（８件）
達成率	７５％
評価	C
課題と方向性	○日々の生徒指導を一層充実させ、居心地のよい学校となるよう管理職をはじめとした教職員の意識の高揚を図る。 ○いじめ防止基本方針に基づいて継続的にいじめ防止に取り組む。また、道徳・人権教育の領域においても教育課程に位置付け計画的に実施する必要がある。

（２）体力の向上と健康の保持・増進

①体力向上の推進と学校体育の充実

②食育の推進

- ◇ 学校教育における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。
- ◇ 安心・安全でおいしい給食の提供に努めます。

関連する事業	事業名 学校給食運営事業 [教育総務課]
目 標	直営として残っている給食調理場６か所の、今後の調理業務の民間委託計画（案）を作成する。
結果及び成果	平成３１年度に新たに加治小学校、美杉台小学校を民間委託にすることで３月に調整会議、庁議に諮り、庁内合意を得た。今後、教育委員会で決定し、３１年度新規開始に向けて進めていく。
達成率	１００％
評価	A
課題と方向性	現在契約中の事業者で優良な事業者については、長期継続契約満了後も随意契約ができるよう、評価制度の導入について研究する必要がある。

③学校給食の充実

④学校保健の充実

3 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある幼稚園・学校づくりの推進

①学習林活用教育の推進

◇ 水と緑の学習とムーミンの理念を生かした教育を推進します。

関連する事業	事業名 学習林活用教育の推進（水と緑の学習の推進） [学校教育課]
目標	飯能市の豊かな自然を享受し、生かし、大切にしていける子どもたち、市民を育むことを推進する。
結果及び成果	○すべての学校で西川材を活用した授業が実施され、地域の特色を活かした体験学習及び環境教育が推進できた。 ○水と緑の学習に係るフォーラムをととして、飯能市の自然を享受した今後の在り方について、教職員の意識の高揚が図れた。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	○環境教育に精通した指導者を飯能市のアドバイザーとして委嘱し、一層の充実を図る。 ○自然体験や地域の財源を活用した教育課程を実施していく必要がある。

②小規模校・園の特色を生かした教育の推進

◇ 恵まれた環境と少人数の良さを生かした一人一人を伸ばす教育を進めます。

③地域の特色を生かした教育の推進

◇ 各地域の自然・歴史・施設・人材を生かした教育を進めます。

④学校・家庭・地域が連携した教育の推進

⑤小・中学校9年間を一貫した教育の推進

◇ 小中の連携から一貫への取り組みを進めます。

関連する事業	事業名 小中一貫教育の推進 [学校教育課]
目標	9年間を一貫した児童生徒の育成を目指して、飯能市における小中一貫教育の取組を実施する。
結果及び成果	○小中一貫教育の基本方針を設定し、目指す児童・生徒像の方向性を示すことができた。 ○全校で教育課程に位置付けた連携が実施された。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	○9年間を見据えた教育課程の編成を作成し、実施・改善・評価に取り組む必要がある。 ○両吾野地区における一貫校の開校に向けて、地域の特性を活かしたカリキュラム・マネジメントを行う必要がある。

⑥校種間連携の推進

Ⅱ 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。

1 学習環境の整備・充実

(1) 学校施設の整備の推進

①安全に配慮した施設の管理と改修の推進

◇ 経年劣化に伴う危険箇所等の修繕を実施し、学習環境を適正に維持するための改修工事を実施します。

関連する事業	事業名 小学校施設管理事業・中学校施設管理事業 [教育総務課]
目 標	学校施設の計画的な改修工事や修繕等を実施し、安心安全な学校運営を行える環境づくりに取り組む。 ○非構造部材の耐震対策 ○危険箇所（遊具等）への対応 ○老朽化に伴う対応 等
結果及び成果	○非構造部材の耐震対策として加治中学校体育館アリーナ照明器具改修工事を学校と調整し、夏休み中に実施した。 ○危険箇所（遊具等）への対応として原市場小学校体育館吊上式バスケットゴール修繕と加治中学校校庭バックネット修繕は、長期休業期間以外での施工となったため学校と密に調整を行い安全に配慮して修繕を実施した。 ○工事・修繕について、学校との調整を密にし安全に配慮することによって事故やトラブルもなく実施することができた。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	老朽化が現在進行形で進み危険箇所も日を追うごとに増加していく傾向の中、非構造部材の耐震対策についてより重点的に実施する必要がある。

②学校規模の適正化の推進

◇ 地域との協議により課題等を整理し、小規模校の今後の在り方について検討します。

関連する事業	事業名 東吾野・西川・吾野小学校の課題解決 [教育総務課]
目 標	東吾野・西川・吾野小学校は、児童数の減少が著しく、今後も減少が見込まれる状況である。児童の学習環境をより良くするために、吾野・東吾野地区において地域として求める学校のあり方の方針を（案）作成する。
結果及び成果	○「東吾野・西川・吾野小学校のあり方」については、協議会の方針決定を踏まえて、教育委員会の方針を決定し、飯能市としても庁議で方針決定した。その後庁内会議を経て、今後の検討スケジュールを作成した。 ○開校に向けて保護者を中心に地域の意見を聴くため「施設隣接型小中一貫校開校準備委員会」を発足し、具体的な準備に向けて協議を開始した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	非常に時間のない中で、「施設隣接型小中一貫校」の開校を目指すことは非常に厳しいが、庁内調整を逐次行い、地域の意見も伺う機会を作りながら、慎重かつ大胆に進める必要がある。

(2) 学習環境の充実

① ICT環境の整備

◇ 多様な学習活動を展開するためタブレットパソコンの配置を進めます。

② 学校図書館・教材の整備充実

(3) 就学援助の推進

① 利用しやすい奨学金制度の推進

◇ 奨学金の返還を促すための対策を講じ、昨年度より未納額を削減します。

関連する事業	事業名 奨学金貸付事業 [教育総務課]
目 標	奨学金返還金の返還率を上昇させる。 返還が滞る奨学生に対し、計画的な返還を促すべく措置を講ずる。
結果及び成果	○返還が滞る奨学生及び連帯保証人に対し、電話や文書による勧奨を行った。また、複数年度分を滞納している奨学生については、臨宅を実施した(2/18)。平日に働く奨学生が返還に係る相談を気軽にできるよう、休日返還窓口を開設した(1/28)。 ○H29年度末の未納額は17,925,264円、収納率は59.79%、H28年度末の未納額は18,686,464円、収納率は61.20%であり、未納額は761,200円減少したものの、収納率は1.41ポイント減少した(いずれも3月末現在)。
達成率	80%
評価	C
課題と方向性	○滞納状態のまま、奨学生及び連帯保証人に何年も連絡が取れない(郵送は届くが、臨宅しても会えないなど)場合、今後、どのような対応を取るべきか、考えていく必要がある。 ○また、分納計画を立てたものの、計画的な分納が出来ず、返還が滞りがちの奨学生への対応も、再考が必要である。

② 高額な通学費への支援

◇ 保護者の経済的負担を軽減するため、「飯能市高等学校等通学費補助金」制度を実施します。

関連する事業	事業名 安心・安全な学習環境づくり [学校教育課]
目 標	学習教材の整備、高額な通学費の補助を適正に行うことにより、学習環境を充実させる。
結果及び成果	高額な交通費を助成するために、計画的な調査や準備が行えた。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	学習環境を整えることは、学習意欲の向上につながる。計画的な整備を今後も推進する。

2 教職員の資質の向上

(1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

① 若手教員育成のための研修の推進

② 職責やライフステージに応じた研修の推進

③教育課題解決のための研修の推進

◇ 教育相談、特別支援教育等教育課題に応じた研修を計画的に進めます。

④外部機関との連携による研修の推進

⑤飯能の特色を生かした教育のための研修の推進

◇ 郷土飯能を愛する児童・生徒育成のため、飯能を理解・体験・活用する研修を計画的に進めます。

Ⅲ 学校・家庭・地域が連携した教育に取り組みます。

1 家庭の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

①家庭教育学級の充実

関連する事業	事業名 家庭教育学級等の開催 [公民館]
目 標	家庭教育の支援のため、関係機関や地域団体等と連携し、家庭教育学級等を開催する。
結果及び成果	○各校のPTA等と共催し、家庭教育学級を開催した。 ○青少年健全育成団体と連携した講座では、「大人からの危険なコミュニケーション」ということで、大人が子どもに言うてはいけないことを中心にした話しの講演等を実施した。 ○飯能市俳句連盟主催の飯能市児童俳句展を飯能中央公民館ロビーで開催、短冊への書は利用グループにご協力をいただき実施した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	今後もPTA役員や青少年健全育成の会等と連携し、講座のテーマや開催時期等を協議して、より多くの方に参加していただけるよう検討していく。

2 地域の教育力の育成

(1) 地域活動との連携

①各種団体や事業者との連携による職業体験、ボランティア体験などの機会の充実

②地域イベントへの子どもの積極的な参加

◇ 駿河台大学、飯能商工会議所、飯能信用金庫と連携して、子どもの好奇心や生きる力、郷土を愛する心を育てる「子ども大学はんのう」を開催します。

(2) 地域活動への支援

①社会教育機関による地域の教育活動支援

3 学校と家庭、地域社会との連携

(1) 学校・家庭・地域の連携

①家庭や地域への学校行事等の情報提供

◇ 学校だより等を活用した地域への情報発信を進めます。

②学校評議員制度や学校応援団との連携による教育活動の推進

③学習習慣形成の推進【再掲】

④学校・家庭・地域が連携した教育の推進【再掲】

Ⅳ 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます。

1 多様な生涯学習の推進

(1) 生涯学習機会の充実

①駿河台大学との連携

◇ 市民の豊富な好奇心に応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

②多様な学習機会の充実

◇ 小学生から高齢者までが参加する生涯学習フェスティバルを開催し、サークル活動及び学習活動の発表を通じて、サークル活動等への参加機会を提供します。

関連する事業	事業名 生涯学習フェスティバルの実施 [生涯学習課]
目 標	○幼児から高齢者までが来場し、だれもが楽しめる生涯学習フェスティバルを実施する。 ○出演者は日頃の成果を発表するとともに、一緒に活動する仲間づくりを行い、来場者は自分が興味を持ったものへの活動のきっかけづくりの場としていく。
結果及び成果	○高校生ボランティアは、市内4校から25人が参加し協力いただいた。また、聖望学園の2人にステージ発表の司会を担当いただき、好評をいただいた。 ○来場者が参加・体験できる内容とするという主旨をご理解いただき、参加団体それぞれに工夫をしていただいた。 ○特別ゲストとして太神楽曲芸の鏡味仙成氏に出演いただき、ステージ発表でのメインイベントとすることができた。 ○参加者アンケートでは、参加して何か得るものがあったとの回答が、約86%であった。
達成率	90%
評 価	B
課題と方向性	○内容をたくさん詰め込みすぎて余裕がない。 ○マンネリ化させないための工夫が必要であると感じる。

関連する事業	事業名 みんなの自習室の開催 [生涯学習課]
目 標	○現在、一部の地域で行われている地域主体の学習支援活動をより多くの地域に広げるため、公民館を会場にみんなの自習室を開催する。 ○講師は教員OBなど地域の方にお願ひし、子どもたちと地域の繋がりを醸成する。 ○わからないところをその場で指導してもらえる場とする。
結果及び成果	○夏休み、冬休みともに安定した運営ができた。子どもたちは、その時間集中して宿題に取り組むことができていた。また、わからないところをそのままにせず、その場で個別指導を受けることで克服できたのではないかと。アンケートにも、「わからないところがわかった」「勉強がちょっと楽しかった」などの回答が寄せられた。 ○共働き家庭だが、児童クラブに加入していないという保護者の方から、毎回楽しみに通っていたようだと話を聞いた。週1回ではあるが、居場所となる事が出来たと感じた。 ○春休みについては、卒業や進級もあるため講師と協議のうえ開催しないことにした。
達成率	100%
評 価	A
課題と方向性	実施会場を増やした際の講師の確保が課題である。

③生涯学習情報の収集及び発信

- ◇ 市民の積極的なまちづくりへの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。
- ◇ 市のホームページ、広報等を活用し、生涯学習に関する行事予定や成果報告などを積極的に発信します。

④人権に関する学習機会の充実

- ◇ 様々な人権問題についての理解を深めるため、地域で人権意識の高揚と啓発を図るための研修会を開催するとともに、人権教育の成果をまとめた冊子を発行し、地区行政センター等に配置します。

関連する事業	事業名 多様化する人権問題について理解を深めるための研修会実施 [生涯学習課]
目 標	地域の住民を対象に人権問題の啓発と研修を行い、同和問題をはじめとする様々な人権問題に進んで寄与できる市民を育成する。
結果及び成果	○精明公民館と双柳公民館を会場にして、人権教育研修会を4回開催した。 ○4日間の延べ参加者数は178人であった。その内、3回以上受講し、修了証を交付した人数は26人であった。 ○受講者アンケートから、研修会の内容を家族、友達、所属グループの人に話そうと思う方が9割を占めており、市民生活の場での明るいまちづくりの実践者の育成に効果があると考えられる。 ○すべての公民館において、人権教育に関する講座を実施できた。 ○『明るいまちづくりへの提言』を刊行し、人権啓発へ活用できるよう学校、公民館等へ配布した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○アンケート結果などを参考にしながら、市民の関心の高い内容での研修を計画し、多くの参加を得られるようにする。 ○研修主題をやさしい言葉で標記するなど、多くの方に興味を持っていただく工夫をする。

(2) 青少年の健全育成

①関係団体との連携

- ◇ 青少年育成飯能市民会議と連携して、青少年が広い視野に立って物事を考え、発表する力を養うための「少年の主張大会」や家庭での家族のふれあいをテーマにした「家庭の日ポスターコンクール」を開催します。
- ◇ 青少年育成飯能市民会議、飯能市青少年育成推進委員会、飯能警察署等と連携し、非行防止対策事業を実施します。

関連する事業	事業名 非行防止対策事業の実施 [生涯学習課]
目 標	少年たちに直接声をかけるパトロールを実施し、少年の非行を防止し、その健全育成を図る。
結果及び成果	○下校途中の学生や帰宅途中の方々に「こんばんは、パトロール中です」、などと声掛けしながら街なかを1時間程度パトロールした。 ○パトロール中には、徘徊する青少年など心配な事例は無かったが、パトロールを実施していることを一人でも多くの人に認知していただくために、今後も継続して実施する。 ○毎回10人前後のメンバーが参加し、安定した運営ができています。 ○生涯学習課からも毎回複数名で参加し、実施団体とは良好な関係が築けている。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	皆勤賞を設定するなど、会員の積極的な参加を促す方法を検討することも必要であると考えられる。

②世代間交流の推進

◇ 生涯学習フェスティバルの中で、世代間交流を推進できるイベントを企画します。

③ ボランティアの育成と活動支援

◇ 地域の子ども会行事活動に協力する青少年相談員協議会の活動を支援します。

2 文化活動・伝統文化の振興と文化財の保存・活用

(1) 市民文化活動の推進

①市民文化活動の奨励

◇ 市民の文芸創作活動を促し、市民文化の向上を図るため文藝飯能を刊行します。

②市民主体による活動の支援

◇ 郷土芸能保存団体による継承活動の支援や郷土芸能フェスティバルを通じて、技術の向上や後継者の育成を図ります。

◇ 郷土芸能フェスティバルの見直しなどにより、若い世代が伝統文化に触れる機会を提供します。

(2) 歴史・文化遺産の継承と活用

①指定文化財の保存と活用

◇ 文化財保護意識を高めるため、文化財めぐりや文化財講座等の普及・啓発事業を実施します。

◇ 文化財の適正な保存を推進するため、劣化等により補修が必要となった指定文化財の修理を行います。

◇ 指定文化財の映像記録をホームページで公開し、広くその魅力を発信します。

関連する事業	事業名 各種文化財事業見える化の充実 [生涯学習課]
目 標	○ホームページを活用し、文化財について多くの事柄が調べられるように掲載内容を充実させる。 ○市内各所で実施される遺跡の発掘調査現場では、どんな時代のどんなものを調査しているのかがわかるような工夫をしながら調査を進めていく。
結果及び成果	○文化財事業の募集や告知は、これまで以上に積極的にホームページを活用して周知を図ることができた。また、事業の成果についても、事業の様子や成果を掲載し、どのような活動を実施しているかの広報に努める事ができた。 ○一方、文化財の情報ページについては、見やすさの向上を図る事が出来たが、写真等の情報を掲載できたものが少なく、未完了の状況となってしまった。 ○情報量の増加はトータルで2割増し程度になり、閲覧数は大きく変化しなかった。 ○発掘調査については、発掘調査情報の掲載が1遺跡だけになってしまった。説明看板の設置も一部の調査でしかできず、遺跡見学会も調査に追われ設定することができなかった。
達成率	80%
評価	C
課題と方向性	○ホームページの改良は継続し、写真の掲載を増やしていきたい。また、今年度のようにホームページを通じた事業の広報活動は続けていきたい。 ○埋蔵文化財の普及については、説明看板は調査毎に設置できるように体制を整えていきたい。

②埋蔵文化財の調査と活用

- ◇ 開発行為等により影響する埋蔵文化財の試掘・発掘調査を円滑に進めるため、事業者と調整を図ります。
- ◇ 埋蔵文化財の発掘調査場所において、実施状況を記した案内板を設置し、普及・啓発活動を図るとともに、市のホームページを活用して、埋蔵文化財の発掘調査成果の情報提供に努めます。
- ◇ 埋蔵文化財出土品の室内整理作業を進めるとともに、出土品の展示や貸出し、出張講座の開催、中学生の社会体験チャレンジの受入れなど積極的に実施します。

③歴史・文化遺産の調査と活用

- ◇ 地域に残された歴史・文化遺産について調査を実施するとともに、貴重なものについては保存・活用に向けた検討を行います。

3 学習活動支援と地域の魅力発信

(1) 図書館サービスの充実

①資料・情報提供の充実

- ◇ 「第2次飯能市図書館サービス・運営計画」に基づき、市の知の情報拠点として、利用者の読書や調査・研究活動を支援するため、資料の充実を図り、郷土館等関係機関と連携し情報提供を行います。

関連する事業	事業名 資料・情報提供の充実 [図書館]
目 標	「第2次飯能市図書館サービス・運営計画」に基づき、知の情報拠点として市民の生涯学習や課題解決を支援するため、資料・情報提供を行う。また、郷土館等関係機関、庁内組織と連携し情報提供を図る。
結果及び成果	○入口付近のテーマ書架で資料展示を10回行った。 ○介護福祉課と連携した展示を1回、健康づくり支援課と連携した展示を2回、市民活動推進課と連携した映画会を2回、事業を2回、地区行政センターと連携した事業を2回、市民会館と連携した事業を3回実施した。 ○郷土館と連携して博物館の愛称募集の掲示、募集を行った。 ○生涯学習支援として情報活用講座を1回実施した。 ○「調べ方案内(パスファインダー)」や資料リストの作成はできなかった。
達成率	95%
評価	B
課題と方向性	引き続き、関係各課、機関と連携した事業を推進するとともに、個人や行政の課題解決を支援できる事業を充実する。

- ◇ ICTを活用した課題解決支援サービスを推進します。

②課題解決支援サービスの充実

- ◇ 課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援します。

③市民との協働による図書館運営の推進

- ◇ ボランティア団体の活動支援や関係団体と連携して、「市民に愛され、市民と共に創り続ける図書館」を推進します。

関連する事業	事業名 市民との協働による図書館運営 [図書館]
目 標	図書館の基本理念「市民に愛され、市民と共に創り続ける図書館」に基づき、図書館ボランティアや読書団体と連携した図書館事業を行い、市民との協働による図書館運営を推進することにより図書館利用を促進する。
結果及び成果	○図書館ボランティアとの活動集会を毎月開催し、その都度職員とボランティアが講師となる研修会を実施した。 ○図書館ボランティアや読書団体等と協働で、映画会、おはなし会を実施した。 ○「図書館だより」を4回発行した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	ボランティア結成後5年目となり、様々な分野での協働が図れてきている。これを更に充実させるとともに、職員との信頼関係を更に高めるように配慮する。

(2) 読書活動の推進

①生涯にわたる読書活動の推進

- ◇ 図書館の資源を活用し、子どもから大人まで各世代の生涯学習を支える事業を開催します。
- ◇ こども図書館開館20周年にあたり、記念事業を実施し、施設の周辺環境整備と快適で安全な施設管理に努めます。

関連する事業	事業名 こども図書館開館20周年事業の実施 [図書館]
目 標	こども図書館開館20周年にあたり、記念事業や施設と周辺の環境整備を実施するとともにこども図書館の周知を図る。
結果及び成果	○こども図書館20周年記念式典をはじめ、関連事業を5回実施した。 ○こども図書館の空調工事を実施した。 ○庭の除草、低木の剪定などの環境整備を実施した。 ○来館者数は前年度より581人増え、38,085人となった。(1日平均では6.3人増の132.7人)
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	こども図書館の良さをより多くの人に知ってもらい、これまでこども図書館に来なかった人たちも引き込めるように、事業の周知、アピールの仕方を見直す。

②学校等教育機関と連携した読書活動の推進

- ◇ 「第2次飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校や保育所等と連携し子どもが読書に親しむための取り組みを実施します。

関連する事業	事業名 学校等教育機関、保育所、子育て支援施設との連携 [図書館]
目 標	「第2次飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校や保育所等と連携した取り組みを実施し、子どもが読書に親しむ機会の増加を図る。
結果及び成果	○新入生向けブックリストを作成し配布した。 ○学校による図書館見学が11回、出前講座5回、団体貸出50回実施した。 ○飯能高校、飯能南高校との交換展示を10回実施した。 ○出産前の家族向けに「マタニティブックリスト」を発行した ○保育所等でのおはなし会を年11回実施した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	学校図書主任会や図書整理員などとの連携を図り、学校との連携を更に推し進める。

(3) 公民館活動の充実

①地域課題を捉えた事業の充実

- ◇ 地域課題を捉えた、健康づくりや防災・防犯に関する事業、交流人口の増加につながる事業等を実施します。

関連する事業	事業名 地域課題を捉えた事業の充実 [公民館]
目 標	地域課題を捉え、健康づくりや防災・防犯に関する事業、交流人口増につながる事業を実施する。
結果及び成果	○地区体育協会やまちづくり推進委員会等、各地区の団体と協力したり、公民館同士で共催するなどして、ウオーキングやハイキングを実施し、年間でのべ5,000人以上が参加した。 ○地域野菜グルメ料理教室などを実施し、健康づくりを推進した。 ○全館共催の飯能（ふるさと）再発見事業で、交流人口の増加を図ったが、市外の方の参加者が少なく満足な成果を得られなかった。 ○各地区の自治会や自主防災会と共催し、防災に関する講座を開催して防災意識の高揚を図った。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	○ウオーキングやハイキング事業については、地元の公共交通機関を利用した事業を実施していきたい。 ○全館共催事業では、いかにしたら交流人口の増加を図れるか、今まで以上に工夫して取り組んでいきたい。

◇ 地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施します。

関連する事業	事業名 地域団体や関係機関と連携した事業の推進 [公民館]
目 標	地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施する。
結果及び成果	○母子愛育会との交流事業として、各地区の自治会館等で行われている、母子愛育会の事業に職員が出向き交流を図った。 ○埼玉県の職員と飯能市の農林課の職員と連携して、鳥獣被害対策に関する講座を開催した。 ○埼玉県警察、飯能警察署と連携して、交通安全教室を開催した。 ○高齢者学級として、飯能警察署、地元福寿会等と連携して、振込詐欺・交通事故に遭わない、起こさないための講座を開催した。 ○自治会連合会精明支部、飯能市介護福祉課、地域包括支援センターと連携して、認知症高齢者等徘徊模擬訓練を開催した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	山間地域においての鳥獣被害対策については、今後ますます重要性が増してくると思われるので、より一層取り組んでいきたい。

②情報発信の充実

◇ 生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図ります。また、地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信し、情報の「見える化」を推進します。

関連する事業	事業名 情報発信の充実 [公民館]
目 標	生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図る。 また、地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信する。
結果及び成果	○地区行政センター（公民館）だよりを月1回発行した。 ○飯能市ホームページ、飯能アプリ、フェイスブックを活用し、公民館事業の案内や実施結果を発信した。また、自治会活動や各団体の活動、小中学校の行事などに積極的に出向き、写真等も掲載して地域情報の発信に努めた。インターネット環境のない方のために、玄関入口に事業の様子や地域の情報を掲出した。 ○講座の様子や地域の四季の景色などの写真をセンター内に掲出し、地域情報の「見える化」を推進した。 ○主催講座の募集には、飯能アプリも積極的に活用した。 ○地域の行事や講座の様子について、報道機関への情報提供を行った。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○地区行政センター（公民館）だよりや飯能アプリ、フェイスブック等を活用し、情報発信を更に充実させる。 ○今後も地域の身近で魅力的情報を積極的に発信し、地域の活性化に貢献する。

③学習活動の支援

- ◇ 学習活動に必要な情報収集を支援するとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援します。

関連する事業	事業名 学習活動の支援 [公民館]
目 標	学習活動に必要な情報収集の支援をするとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援する。
結果及び成果	○市の出前講座や学習活動に関する情報を館内に掲出した。また、出前講座のチラシなどの案内をロビーに設置しPRをしている。 ○会員数が減少している公民館利用グループの支援として、そのグループを講師とした講座を開催し、メンバーの増加につなげる等、連携強化を図った。 ○地区文化祭や音楽祭を、関係団体と協力・連携して実施した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○「みんなの自習室」等の子どもの居場所づくりができる事業を関係団体と連携して実施する。 ○高齢化により利用グループが減少しているので、公民館として連携を進めグループが維持できるよう協力を続ける。 ○文化祭については、更に参加者や観覧者が増えるよう各館で内容の検討を行う。

(4) 郷土館活動の充実

①地域の情報センター機能の充実

- ◇ 古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進し、市民に提供できる情報の充実を図ります。

関連する事業	事業名 収蔵資料の整理 [博物館（旧郷土館）]
目 標	地域の魅力や特性を究明することを目的とし、収蔵資料から地域の情報を引き出し、それを多くの人が利用できるようにするため、収蔵資料の整理を推進する。
結果及び成果	○南村岡部家文書、北川村浅海公介家文書など8つの史料群1,522点の整理を終了し、目標としていた1,500点を上回った。 ○古写真は3月上旬までに100点のカードを、また、民具については41点のカードを作成した。民具、古写真ともに目標値には達しなかった。 ○また、一般収蔵庫の棚の整理であるが、L及びM-1の棚まで終了し、上半期と合わせて1,335点の再整理を行った。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	資料の整理は、本市の魅力となる情報を作り出す作業にあたり、都市回廊空間の一翼を担う博物館として根本的な活動となる。引き続き計画的に進める必要がある。

②市民、小中学校、大学、他の教育機関等と連携した博物館活動の推進

◇ 図書館、市民会館と連携した事業を実施します。

関連する事業	事業名 図書館、市民会館と連携した事業の実施 [博物館（旧郷土館）]
目 標	他の教育機関等と連携した博物館活動の推進をするために、図書館、市民会館と連携した事業を実施する。
結果及び成果	○夏休み子ども歴史教室は、こども図書館と共催で8月2日に実施し、12人の参加があった。参加者のアンケートでは、83%が「楽しかった」と回答しており、目標を上回った。 ○また、小中学校社会科研究展は、9月16日から10月1日まで市民会館と共催で同館地下室で行い、778人の来館者があった。また、教育長賞を初めとする受賞者の発表会を10月1日の午後に開催し、43人の参加があった。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	近年の夏休み子ども歴史教室は、定員に達しないことが多いので、より魅力的なプログラムを企画するとともに、広報の方法を見直す必要がある。

③施設の充実と職員の専門性の向上

◇ 常設展示を時代に合った内容に改装します。

関連する事業	事業名 常設展示の改装 [博物館（旧郷土館）]
目 標	来訪者に天覧山・飯能河原周辺の自然を含めた魅力を伝えるとともに、街や山間地域の魅力を発信することを目的とし、常設展示を時代に合った内容に改装する。
結果及び成果	○常設展示工事は、工期を1ヶ月延長し平成29年12月28日に終了した。その後、歴史展示室における有機酸、アンモニアの検知調査を行い、資料に影響のない濃度であることを確認して、2月中旬から資料の展示を開始し、3月25日に展示作業を終了、4月1日にリニューアルオープン記念式典を実施した。 ○また、改装後の展示については3月1日の広報はんのうの1面など合わせて3ページにわたって掲載するとともに、内覧会にマスコミを招待してプレゼンを行い、3月30日に文化新聞に掲載され、4月1日にはNHKで放映、4月2日には埼玉新聞、毎日新聞に記事が出た。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	展示は1回見ればよいと考える人が多いので、現地へ誘う機能を果たすことで、新たな常設展示を継続的に活用していく必要がある。

(5) 地域の魅力発信

①地域情報の積極的な発信と地域の活性化支援

- ◇ 市の歴史、文化を伝える地域資料を積極的に収集、保存、提供します。
- ◇ 常設展示改装に合わせ、地域の魅力や見どころを紹介したリーフレットを作成し、展示室に備えます。

関連する事業	事業名 地域資料の収集、保存、提供 [図書館]
目 標	飯能市に関する地域資料は市販されていない事が多く、図書館で積極的な収集、保存、提供を実施することで、市民に飯能市の歴史、文化を伝え、関心を高める。
結果及び成果	○地域資料を231点受入れた。 ○展示コーナーで蔵原伸二郎関係の資料展示を4回行った。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	博物館と更に連携をとり、郷土資料の充実をすすめる。郷土資料コーナーの配架を見直し、調べやすい書棚とする。

関連する事業	事業名 地域の魅力や見どころを紹介したリーフレットの作成 [博物館（旧郷土館）]
目 標	常設展示改装にあわせ、地域の魅力や見どころを紹介したリーフレットを作成し、展示室に備える。
結果及び成果	○歴史展示室の展示を見学した方を現地に誘うためのリーフレットであるが、「飯能今昔」ゾーンの「旧中山村の地域遺産」を巡るマップは、市民学芸員が一部の解説を執筆するなどして、3月22日に完成した。 ○また、「町」ゾーンの飯能戦争のマップは、3月28日に完成した。その他のリーフレットも製作に着手し、来年度には配布できる見込みである。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	歴史展示室のマップ・リーフレットについては、平成30年度に作成する予定である。

②「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設 Metsä（メツァ）」を活用した新たな魅力の創出

- ◇ ムーミンやフィンランドに関する資料コーナーを活用し、その情報発信に努めます。

関連する事業	事業名 ムーミンやフィンランドに関する資料コーナーの活用と情報発信 [図書館]
目 標	ムーミンやフィンランドに関する資料コーナーを活用し、新たな地域の魅力となり、地域創生につながる「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設Metsä（メツァ）」の情報発信を行う。
結果及び成果	○7月から3月にかけて市内全小学校にムーミンとフィンランド関係図書の配本を行った。 ○5月に名栗分室で「フィンランド語であそぼう」の講座、12月にこども図書館で「フィンランドのクリスマス」の講座を開催した。そのほか、ムーミンやフィンランドに関する出前講座を10回実施した。 ○市立図書館のムーミンとフィンランドコーナーの配置を変え整備した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○多くの世代に対し、ムーミンやフィンランドについて知ることができるような講座、資料展示を更に充実させる。 ○複数の職員がムーミンやフィンランドについての講座等を担えるように、職員のレベルアップを図る。

③天覧山・飯能河原周辺の魅力の発信

- ◇ 天覧山・飯能河原周辺の自然の魅力を発信する人材を登用し、郷土館を拠点とした観察会等を実施します。

関連する事業	事業名 天覧山・飯能河原周辺の自然の魅力を伝える観察会等の開催 [博物館（旧郷土館）]
目 標	天覧山・飯能河原周辺の自然の魅力を発信する人材を登用し、郷土館を拠点とした観察会等を実施する。
結果及び成果	○子どもを対象とした自然観察会「どんぐり探検隊」を11月11日に実施し、15名の募集のところ、5名の申し込みがあり、このうち小学2年生1名、3年生3名、合わせて4名の参加があった。 ○リニューアルオープンが4月1日に変更となったため、入館者のアンケート調査は実施しなかった。
達成率	75%
評価	C
課題と方向性	周辺の自然のビジターセンター機能は、今回の改装の大きな変更点となる。市民や自然関係者の期待も大きいので、この分野の事業を関係者の協力を得ながら実施していくことと、博物館としての情報蓄積を着実に進めていく必要がある。

V スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

1 健康で元気に暮らすための事業の充実

(1) 地域と連携した活動の推進

①健康づくり事業の展開

- ◇ NPO法人飯能市体育協会におけるコーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図ります。

関連する事業	事業名 コーディネーショントレーニングの推進 [スポーツ課]
目 標	コーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図る。
結果及び成果	○飯能市コーディネーショントレーニング協議会を年8回開催した。 ○体験会並びに学ぶ会（飯能市体育協会主催）を年2回（6月／11月）開催。ブロンズライセンスセミナー（JACOT主催）を1回（3月）開催した。 ○保育所巡回教室を9保育所で開催し、延べ603人が参加した。また、保育所巡回教室の見学会も年2回（5月／10月）実施し、延べ17人が見学した。 ○新たにコーディネーション道場を試験的に始め、市民に知ってもらうきっかけづくりを行った。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	○コーディネーショントレーニングの取組みについては、引き続き協議会等で検討していく必要がある。特に学校での普及活動をどのように推進していくか協議していく必要がある。 ○資格取得の費用面など関係各課と協議し、普及に向けての活動を行っていく必要性がある。

②ウォーキングのまち飯能の推進

- ◇ 市民の健康維持、健康意識の高揚を図るため、市内9地区のウォーキング大会をNPO法人飯能市体育協会に委託し、『市民健康ウォーク大会』として開催します。

(2) スポーツイベントの充実

①飯能新緑ツーデーマーチ

- ◇ 関係団体と連携をし、安全で効率的な大会運営を行います。参加者だけでなく主催者側もワクワクし満足する大会とします。市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えします。

第15回飯能新緑ツーデーマーチ

大会期日：平成29年5月27日（土）・28日（日）

②奥むさし駅伝競走大会

- ◇ 歴史と伝統ある奥むさし駅伝競走大会を関係団体と連携し、市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えします。

第16回奥むさし駅伝競走大会

大会期日：平成30年1月28日（日）

- ◇ 第60回奥武蔵中学校駅伝競走大会を開催します。

大会期日：平成29年12月2日（土）

関連する事業	事業名 既存イベントの充実 （第15回飯能新緑ツーデーマーチ ・ 第16回奥むさし駅伝競走大会 ・ 第60回奥武蔵中学校駅伝競走大会） [スポーツ課]
目標	既存イベントの充実を図り、参加者に満足してもらえるような魅力ある大会を実施する。 関係団体と連携し、市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えする。
結果及び成果	《飯能新緑ツーデーマーチ》 ○第16回大会に向けて、昨年度の反省点を考慮し、コース下見を行いながら決定した。 ○統括部会や実行委員会等を実施し、準備を行った。 《奥むさし駅伝競走大会》 ○警察や関係団体等と協議を行い、昨年同様に10チーム増やした230チームで募集を開始できた。高校の部…66チーム、一般の部…149チーム、合計…215チーム ○バイパスの開通に伴いコースを検討し、新コースにて開催できた。 《奥武蔵中学校駅伝》 ○男子の部…70チーム、女子の部…53チーム、合計…123チームが参加した。 ○駐車場の拡張工事に伴い、開会式・閉会式のレイアウトを変更するとともに、短時間で終了するように変更した。 いずれの大会も大会運営上での事故はなく終了した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○各大会とも関係団体との連携が重要になることから、信頼関係を構築していく必要がある。そのためには、日頃から情報共有やコミュニケーションを大切にしていく。 ○前回大会の反省点を考慮しつつ、新たな魅力ある大会運営を行っていく。

③新たなスポーツイベントの検討

- ◇ 飯能市の豊かな自然、地形を生かした新たなスポーツイベント“ヒルクライム大会”の協力を行います。

(3) スポーツ環境の整備・充実

① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

◇ NPO法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各競技団体と地区体育協会のほか、スポーツ少年団、レクリエーション協会等の活動を支援します。

◇ 全国大会出場などの選手及び団体へスポーツ奨励金を交付します。

関連する事業	事業名 各種関係団体との支援及び連携 [スポーツ課]
目 標	飯能市体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団などの各種関係団体を支援するとともに、連携を図り、飯能市のスポーツ・レクリエーションを推進する。
結果及び成果	○各関係団体との会議を計画的に開催し、団体との連携強化・情報の共有化が図られた。 ○飯能市体育協会が開催する理事会（年7回）と総会、加盟団体長・理事長会議などに出席した。 ○飯能市スポーツ推進委員協議会定例会を12回（月1回）開催した。 ○スポーツ少年団本部委員会を4回開催した。 ○各関係団体との会議の開催、出席をすることで、情報の共有化が図られるとともに、連携・協力体制が図られた。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	スポーツ課の事業は、多くの関係団体、関係者の協力・連携が必要不可欠であり、日頃から良い関係づくり（信頼関係）を構築していく必要があることから、今後も関係団体の会議等には積極的に参加し、連携を密にしておく必要がある。

② 市民ニーズに即応したスポーツ教室等の開催

◇ 市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及振興するため、NPO法人飯能市体育協会にスポーツ教室及びスポーツ大会等を事業委託して開催します。

市内競技団体によるスポーツ教室の開催

第66回市民体育祭（27競技団体）及び地区体育祭（9地区）

第36回市民レクリエーション祭（5団体）

③ ホッケーのまち飯能の推進

◇ 『ホッケーのまち飯能』推進計画に基づき、ホッケーのまちづくりを推進します。

関連する事業	事業名 ホッケーのまちづくりの推進 [スポーツ課]
目 標	「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。
結果及び成果	○巡回ホッケー教室の開催 小学校：14校、中学校：8校（全校で開催） 中学生放課後：1クラブ（飯能ジュニア） ○「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針（改訂版）及び推進計画を策定するため、懇話会を2回開催し、各委員から意見を聞き、基本方針（改訂版）及び推進計画を策定した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○「ホッケーのまち飯能」を推進していくため、関係団体や学校、先生等と協議・情報共有し、進めていく必要がある。 ○平成30年度から平成34年度までの5年間にて推進計画を策定したので、計画を実現するため遂行していく。

- ◇ 市内全中学校における保健体育科授業での必修化を継続します。
- ◇ ホッケーのまち飯能推進事業を飯能ホッケー連盟に委託し、スポーツ少年団・中学生の強化及び支援を進めます。
- ◇ 飯能ホッケー連盟に大会補助金を交付し、第26回関東中学生新人ホッケー大会を支援します。
- ◇ 埼玉ホッケー協会に大会補助金を交付し、関東高等学校ホッケー大会を支援します。

大会期日：平成29年6月10日（土）～12日（月）

2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

（1）スポーツ施設の安全点検とサービスの向上

① 指定管理者との連携

- ◇ 都市公園運動施設のサービスの向上、円滑な管理運営を行うため、指定管理者と連絡調整を行います。
- ◇ 指定管理者の職員の質を高く維持しつつ、接遇の面でも市民サービスを重視した意識を確保します。
- ◇ 指定管理者の積極的な自主事業の実施に向けて協議を行います。

② 施設の計画的な修繕

- ◇ スポーツ施設の安全な運営を確保するため、定期的な施設点検を行い、指定管理者や関係部署と協議し、修繕計画を作成し修繕を行います。
- ◇ 阿須運動公園ホッケー場・美杉台公園多目的グラウンドの人工芝について、早期の張り替えに向けて関係課等と協議します。

③ 利用者のサービス向上

- ◇ 指定管理者と連携し、利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、施設の利便性の向上を図ります。

関連する事業	事業名 都市公園運動施設の指定管理 [スポーツ課]
目 標	都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。
結果及び成果	○指定管理者である飯能市体育協会・太平洋総業サービスと必要に応じて協議・検討を行った。 ○施設の安全点検や工事、修繕箇所の確認を行い、来年度以降の実施計画に反映させた。 ○連絡を密にし、施設の修繕を進めた。 ○道路公園課と連絡を取り合い、公園内での工事や修繕についても情報共有しながら進めた。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○利用者ニーズを把握し、安全・安心な体育施設の運営を行う。 ○施設の老朽化に伴い、計画的に工事・修繕を進める必要がある。

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

平成29年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（A評価）」と「概ね目標を達成（B評価）」の割合は、全36事業中32事業あり、全体の約88.9%を占めました。また、「期待をやや下回る（C評価）」が4事業ありました。「期待を上回る（S評価）」はありませんでした。

全体としては、概ね良好な事務執行ができたと評価できますが、引き続き創意工夫し、努力していく所存です。

<集計表>

所 管 課	評価結果の内訳（事業数）					
	S	A	B	C	D	事業数合計
教育総務課	0	3	0	1	0	4
学校教育課	0	1	4	1	0	6
生涯学習課	0	3	1	1	0	5
公 民 館	0	4	1	0	0	5
スポーツ課	0	4	1	0	0	5
図 書 館	0	5	1	0	0	6
博物館(旧郷土館)	0	2	2	1	0	5
事業数合計	0	22	10	4	0	36
評価の割合 (%)	0	61.1	27.8	11.1	0	100

（参考）平成28年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	1	28	7	1	0	37
評価の割合 (%)	2.7	75.7	18.9	2.7	0	100

5 教育委員会の活動状況と評価

平成29年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

項 目		回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	13回	定例会及び臨時会の開催 定例会12回、臨時会1回
	教育委員会会議の傍聴者の状況	延べ13人	
	議事録の公開、広報・広聴活動の状況	—	議事録(概要)、会議日程をホームページへ掲載
	教育委員の研修会への参加状況	6回	「入間地区教育委員会連合会視察研修」ほか
	学校訪問	7か所	小学校5校、中学校2校

【教育委員会会議の議案数】

項 目		議案数(件)	議案の内容
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	4	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	0	
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	8	「飯能市教育委員会事務局の内部組織に関する規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育費予算、その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	6	「平成29年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0	
	人事に関すること	8	「平成30年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	14	「奨学生の決定について」ほか
合 計		40	

【評 価】

開かれた教育行政を推進するため、市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供について、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

また、平成28年度から平成32年度までの計画である「第2期飯能市教育振興基本計画」（以下「計画」という。）に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局と連携を一層強化して計画の実現に取り組みました。

同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、平成29年度の達成状況は次のとおりです。

第2期飯能市教育振興基本計画 数値目標の結果

【学校教育課】

項 目		平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
将来の夢や目標を持っている と回答した児童生徒の割合	（小学校）	85.5 %	90.1 %	94.8 %	95.0 %
	（中学校）	71.8 %	76.1 %	95.1 %	80.0 %
学校で取り上げた人権課題の 数	（小学校）	78 件	123 件	102.5 %	120 件
	（中学校）	37 件	57 件	80.3 %	71 件
体力テスト5段階絶対評価で 上位Aランク（A・B・C） の児童生徒の割合	（小学校）	81.3 %	81.4 %	101.8 %	80.0 %
	（中学校）	85.0 %	81.2 %	95.5 %	85.0 %
小・中学校応援団のボランティア総人数		1,257 人	1,724 人	86.2 %	2,000 人

【教育センター】

項 目		平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
タブレットPCの配置校	（小学校）	5 校	7 校	50.0 %	14 校
	（中学校）	3 校	4 校	50.0 %	8 校

【学校教育課・生涯学習課・公民館】

項 目	平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
家庭教育学級への総参加者数	1,783 人	667 人	78.5 %	850 人

【生涯学習課】

項 目	平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
青少年育成活動の参加者数	203 人	258 人	103.2 %	250 人
青少年ボランティア延べ人数	72 人	114 人	228.0 %	50 人
公開講座参加者数	2,768 人	2,768 人	76.9 %	3,600 人
出前講座開催件数	84 件	86 件	122.9 %	70 件

【公民館】

項 目	平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
公民館主催事業数	346 事業	347 事業	111.9 %	310 事業
主催事業参加者数	22,333 人	22,097 人	113.3 %	19,500 人

【スポーツ課】

項 目	平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
市民健康ウォーキング事業参加者数	1,442 人	1,228 人	61.4 %	2,000 人
スゴ足イベントの参加者数	6,028 人	7,809 人	223.1 %	3,500 人
飯能新緑ソーデーマーチ参加者数	21,241 人	20,304 人	81.2 %	25,000 人
スポーツ施設利用者数	281,605 人	274,848 人	93.2 %	295,000 人
学校体育施設開放事業における利用人数	124,920 人	118,204 人	85.7 %	138,000 人

【図書館】

項 目	平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
図書館年間利用者数	112,097 人	109,898 人	98.1 %	112,000 人
年間貸出点数	5.54 冊	5.38 冊	92.8 %	5.8 冊
図書館来館者数	234,373 人	234,216 人	101.4 %	231,000 人

【博物館(旧郷土館)】

項 目	平成28年度	平成29年度	達成度	目標値（平成32年度）
ホームページ「地域の歴史情報」の項目数	6 件	6 件	54.5 %	11 件
郷土館資料整理済件数	67,287 点	68,075 点	119.4 %	57,000 点
年間入館者数	30,666 人	4,846 人※	16.2 %	30,000 人

※ 常設展示改装工事に伴う休館(H29.6.1～H30.3.31)のため

6 評価会での学識経験者の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育行政の重点施策の評価会を開催し、駿河台大学の教授2名から次のようなご意見等をいただきました。

【各事業の目標設定と評価結果について】

○東吾野・西川・吾野小学校の課題解決の取組について、住民主体による協議や説明会が行われるよう設定していただいたことに感謝する。

○公民館事業の交流人口の増加を図っていく手法として、近隣市の公民館と共催事業を実施し、お互いで交流していくという方法もあるので検討されたい。また、ホームページ等による電子媒体による周知方法は、市民以外の閲覧は望めないのでは、姉妹都市等との交流を深め、その取組が評判となることで交流人口が増えることにつながったり、市内に通勤、通学している人たちに対して積極的にイベント参加を呼び掛けるなど、ターゲットを絞りながら幅を広げていくように考えると良い。

○こども図書館の今後の課題に記載してあるこども図書館を多くの人に知ってもらう方法として、子どもたちに来館の経験をさせることでリピーターとなることもあるので、小学校の施設見学を積極的に受入れていくように考えると良い。

○博物館や文化財事業で達成率が100パーセントに到達していない項目が目立つが、原因は人手不足にあるとも考えられるので、その解消方法として、学生の学芸員研修の積極的な受入れや、学芸員資格所持者のボランティア募集、見学会参加者に対してボランティア依頼などしていく方法もある。

【総括】

○各所管の評価結果については、概ね妥当である。一生懸命に取り組む姿勢は評価する。

○飯能市には、良い部分がたくさんあるので、ストーリー性を訴えていくことで、更なる発展につながるのではないかと思う。

○少子化となって考えるべきことは、少年期に飯能市に慣れ親しみ、ここがよいと思っ
てずっと飯能市に住み続けたいと思ってもらえるように子どもたちを育てていくこと。
そのためにも、小学生のうちに公民館、図書館、博物館などを利用することになるよう、
引き続き、楽しみながら、いろいろ体験できるような企画をしていただけるとありがたい。

7 おわりに

今年度で11年目となる教育委員会の事務に関する点検・評価ですが、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるよう中・長期的な視点に立って、毎年、各所管が目標を掲げ事業展開を行っています。重点施策として評価シートに表記されていない事業もありますが、計画に基づき各所管で確実に事業を進めております。

2人の学識経験者からは、評価結果については概ね妥当であるが、長期的な視野をもって各種事業に取り組むことが飯能市の発展につながるので、特に少年期の体験・経験を大切にしてもらいたいなどの助言をいただきました。

今後も教育委員会では、学識経験者のご意見を踏まえ、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、計画に基づきより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。